

はじめに

南丹市では、総合振興計画において「みんなの笑顔 元気を合わせ 誇りときずなで未来を創る」をテーマとし、まちづくりに取り組んでいます。

平成24年3月には、「自然いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱいのまち なんとん」をめざして、第1次南丹市健康増進・食育推進計画を策定し、その具現化に向けて、市民・地域や関係機関・団体とともに取り組みを進めてきました。

しかし、その中で改善したものも多くありますが、まだ課題として残されているものもあります。また、少子高齢化の進行による社会構造の変化や偏りある食生活、運動不足等による生活習慣病の増加、うつ病等のこころの問題など、私たちの健康を取り巻く環境は厳しさを増しています。

この5年間で、市民協働という新しい枠組みでの取り組みが、地域のあちこちで産声を上げ、南丹市の健康づくりや食育推進で、成果が聞かれています。

健康づくりや食育推進は、地域の活性化とともに地域に根付いていくものであると考えており、市民の皆さまが南丹市に愛着と誇りを持って推進して頂いていることに対し、感謝いたします。

これらの背景を受け、第2次計画については、第1次計画を評価検証し、分析をおこない、今後10年間の健康増進と食育の両分野を一体的に推進していくため、より具体的な計画として策定いたしました。「健康寿命の延伸」「生活習慣病の発症・重症化予防」「若いころから健康づくり・食育推進」を計画の基本目標とし、取り組んでいきます。

折しも、第2次計画策定年度の平成28年度に、南丹市は「健幸都市連合」に賛同し、健やかで幸せに暮らせる地域社会の実現を重要な政策課題と位置づけ「健幸都市」をめざすことを表明しています。「健幸都市」は健康づくりだけでなく、コミュニティ活動やまちづくり等を含む住民主体の観点に立った総合的な取り組みによって実現すると考えています。

南丹市の健康増進、食育推進には、市民一人ひとりの取り組みだけではなく、家庭、地域、行政が一体となって進めていくことが必要です。皆さまに、本計画推進へのご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、策定に参画頂きました策定委員の皆さまをはじめ、関係者の皆さま方に心から感謝申し上げます。

平成29年3月

南丹市長 佐々木 稔納



第2次南丹市健康増進・食育推進計画策定に寄せて

平成23年度に、第1次南丹市健康増進・食育推進計画の策定に関わってから、5年が経ちました。従来から、南丹市では健康づくり活動が熱心に進められておりましたが、それを発展させる形で第1次計画が策定され、その具現化に向けて、この5年間様々な取り組みが進められてきました。特に、タバコ対策と歯の健康の取り組み、また、食育の情報発信など「弁当の日」を含む食に関する取り組みについては、大きな成果が見られます。さらに南丹市が強みとする豊かな自然や、新鮮な農作物、また人と人とのつながりを活かしながら、地域の活性化を図りつつ、健康増進・食育推進に努めてこられました。



しかしながら、全国的な問題として、少子高齢化や偏りのある食生活、こころの問題、運動不足等、心身の健康に悪影響を及ぼす因子はまだ数多く、根深くあります。

南丹市の第1次計画を評価検証した中では、生活習慣病の予防、休養とこころの健康について課題を残すこととなりました。

第2次計画の策定においては、これらの課題を分析し、現状と10年後の南丹市を見据えて、課題解決に向け、取り組みを進めていくため、具体的内容を計画の中に盛り込み、健康増進・食育推進計画を一体的に推進していくこととなりました。

今後、この計画を基に、「市民が、生涯を通じて健康でいきいきと暮らせるまち なんとん」の実現に向け、「健康寿命の延伸、生活習慣病の発症・重症化予防、若いころからの健康づくり・食育推進」を基本目標に、市民と行政が協働し取り組まれていくことを願っています。

平成29年3月

京都府立大学 東 あかね